

RAD-AR NEWS

レーダーニュース

2019.12
No.123



シリーズ Vol. 21 俵木理事長がトップに聞く！

強みを活かす協力関係の先に 究極のゴール

情報過多社会における製薬企業の患者啓発の重要性

アツヴィ合同会社

社長 ジェームス・フェリシアーノ

一般社団法人 くすりの適正使用協議会

俵木 登美子



特集 保護者向けサイト
「子どもにくすりをのませるコツ」公開！

特集 外国人観光客3,000万人時代の
薬剤師・薬局に向けて

兵庫医療大学 薬学部教授 桂木 聡子氏

英語版くすりのしおり®
いろんなところで取り上げられています

シリーズ 患者さんと医療者のいい関係
—求められる本質的な情報提供
東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子氏

信頼できる情報を社会へ
—一定時総会・創立30周年記念祝賀会を開催

協議会会員・代表者一覧

Event Report 一般の方を対象に公開シンポジウムを開催
その情報信じていいの？～正しい医療情報の見極め方、検索のポイントとは～

■世界のくすり事情
—韓国

■PICK UP TOPICS

■薬についての
ソボクなギモン



シリーズ Vol. 21

俵木理事長がトップに聞く！

強みを活かす協力関係の 先に究極のゴール

情報過多社会における製薬企業の患者啓発の重要性

薬の適正使用のあるべき姿について考える対談企画。今回はアッヴィ合同会社のフェリシアーノ社長との対談です。患者さんに限らず一般消費者と医薬品の適正使用情報をいかに共有するか、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催で訪日外国人が増えることを見越し、どのようにして医薬品情報に対する理解を深めるべきか、熱のこもった対談となりました。

(進行・協力：株式会社ミクス Monthlyミクス編集部 特報チームデスク 望月 英梨)



アッヴィ合同会社
社長

ジェームス・フェリシアーノ

1969年、米国バージニア州生まれ。ミシガン大学日本学科修士課程修了。コーネル大学経営学修士課程修了。ワイス社アジア太平洋地域担当、ファイザー株式会社ワクチン事業統括部長、メルクセロノ株式会社代表取締役社長を経て、2015年6月アッヴィ合同会社社長に就任、現在に至る。



一般社団法人
くすりの適正使用協議会

理事長
俵木 登美子

急成長を支える エンゲージメント

—アッヴィが一番注力されている事業や戦略についてお聞かせください。

フェリシアーノ バイオ医薬品企業であるアッヴィは、2013年にアボットラボラトリーズ社から独立する形で設立されました。アボットの125年にわたって培われた専門知識と卓越した技術を有する一方で、誕生して6年という若さから来る、自分たちが会社を創っていくという気概が製薬企業の中でも急成長しているゆえんでもあります。

関節リウマチを始めとし11の適応をもつ、世界ナンバーワン製品のヒュミラ®や、2018年の国内売上高トップになった肝炎治療薬・マヴィレット®など、革新的な医薬品を有しています。オンコロジー領域では、2019年初めて血液がんの領域で承認を取得し、イミュノロジー事業本部（ヒュミラ®、スキリージ®）、スペシャルティ事業本部（シナジス®、デュオドーバ®など）、肝炎事業本部（マヴィレット®）に次ぐ、4番目の事業領域として、成長ドライバーに育てていきます。開発パイプラインは豊富で、国内臨床試験数も現在は約60まで増加しました。社長に就任して4年、組織も事業も拡大しつつある中、社員が高いエンゲージメントをもって、患者さんの笑顔に貢献するために尽力していることを嬉しく思っています。

俵木 働き方改革、オフィス改革も進めておられて、これにより社員のエンゲージメントを高めることも企業の発展につながっていると感じました。

フェリシアーノ 2019年2月の本社の

オフィス移転を機に、アクティビティ・ベース型・ワークスペース（ABW）を導入し、社員が柔軟かつ健康的な新しい働き方を実践し成長することをサポートしています。ABWは社員がその時々に必要な業務に対して最適なスペースを選択できることを可能にし、私自身も社長室はなく、社員と一緒に、オフィスのスペースを移動しながら仕事をしています。壁がなくなり、コミュニケーションが増え、コラボレーションが活性化されるなど、良い効果が出ていると感じています。

俵木 2019年5月にグローバルで「Our Principles（私たちの約束）」を発表したのも印象的です。

フェリシアーノ 「Our Principles（私たちの約束）」は、私たちがどんな企業で、何のために存在しているかを示し、意思決定を導き、行動の拠り所となるものです。単なるスローガンではなく、患者さん、そのご家族、地域社会、そして社員のために、アッヴィ合同会社らしく皆で検討し実践して一人ひとりの人生を豊かにしていくことが重要だと感じています。

地域の社会貢献としては、この8月に、本社近隣地域の小学生向けに夏休み科学実験教室を開きました。実験などを通じて楽しみながら科学を学ぶことで、科学に興味を持ったお子さんたちの中から将来科学者になる子が出てくるかもしれません。楽しみです。

求められる 患者のヘルスリテラシー

俵木 実験教室では協議会のくすり教育のスライドも活用していただいたと

お聞きしました。ところで、協議会は2018年、医師、薬剤師、製薬企業、患者さん、メディアと6団体で共同ステートメントを発表しています。

日本は高齢化が進展し、一般の方は健康・医療に高い関心を持っています。そのような中で、インターネットや週刊誌などでは「この薬は服用してはいけない」などセンセーショナルな見出しで適切な医療を惑わすような報道もみられます。こうした現状に対応して、正しい情報を見極め、判断できる基礎的知識と、各専門家の活用を一般の方に普及啓発する目的でまとめたものです。

10月に山口県で開催された日本薬剤師会学術大会では、日本薬剤師会との共催で県民公開講座を開きました。情報検索の留意点や見極め方、専門家の活用方法を紹介し、判断力を磨いてもらおうという趣旨です。（14ページ参照）

フェリシアーノ 非常に大切な取組だと思います。高齢社会におけるポリファーマシーが問題となっている今、患者さんの性別や年齢、重症度、原因、環境や既往歴などが、一人ひとりで異なるなか、医師や薬剤師、看護師などの多職種連携は重要です。

俵木 ポリファーマシーは大きなテーマで、厚生労働省も課題解決を図ろう

表紙のペンギンについて

フライングペンギンは、今までの常識を超えていく革新性、明るくポジティブな未来に飛躍していくこと、を表現しています。

また、フライングペンギンは、アッヴィと社員を表し、イノベーションとポテンシャルの象徴です。

としています。当協議会も日本製薬工業協会と協働して、ポリファーマシーについて一般向けの啓発活動を行っているところですので。厚生労働省が策定した医療関係者向けの指針を踏まえながら、一般の方サイドからポリファーマシーを改善する糸口をみつけれられるようにしたいと考えています。医師や薬剤師だけでは解決できない問題であり、介護者が気づく副作用やポリファーマシーもあるかもしれません。

フェリシアーノ 私は、ポリファーマシーの克服が医療費を削減できる方法の一つと考えています。米国は民間保険会社に管理されているため、患者さんはドクターショッピングをできないし、処方してもらえる医薬品も決まっています。日本はいろいろな医療機関を受診できますが、その際に処方された薬をチェックすることはできません。

一国内における医薬品に対する知識や理解の実態調査では、小中学生1万5,000人を対象とした調査で、薬を飲み物なしで服用したとの回答が3割近く、お茶やコーラで服用したとの回答が5割

近く、そして自己判断での服用経験が中学生だと3割に上っています。

俵木 日本では中学と高校で薬の教育を行うことが学習指導要領で定められています。本来はもっと早い段階から教育すべきだと思います。当協議会では、先生対象の研修などで支援を行っています。教育はすぐに効果が現れませんから、10年単位で時間をかけて進めていく課題だと思っています。

一米国の状況で日本と違うところはありますか。

フェリシアーノ 米国と日本で大きく違うのは、米国は医療保険の未加入者が多い点です。セルフメディケーションの傾向が強いため、OTC薬の種類も多く、例えば、日本では処方箋が必要な薬も、米国においてはOTC薬として購入できます。

文化的な側面をみても、米国は個人主義の傾向が強く、自分自身で自己モニタリングをしています。その一方、日本の良いところだと思いますが、皆保険制度のため、いつでも、誰でも、平等に、安心して医療を受けることができます。

そして、日本の患者さんは医師に指示されたことを守る傾向がありますね。親の立場からみても、米国では子供がちょっと風邪を引いたくらいで、わざわざ医療機関を受診しませんが、日本はそうではありません。

マクロな環境では、米国はDTC広告*が発達しており、患者さんや一般の方が、例えばテレビCMを見て、自分の症状と同じだと判断し、医師に「あの薬を処方してほしい」と要望することもあります。これには、良い面も悪い面もあります。

DTC広告で一般の方が自分の問題を知れば、治療により完治する可能性も出てきますし、自分の生活を取り戻すこともできるわけですが、米国の製薬企業は、DTC広告に責任をもって適切に行わなければ、業界全体へダメージを与えることにもなりかねません。

一患者さんへの情報提供についてどうお考えでしょうか。

フェリシアーノ 個人的には日本人の患者さんはもっとエンパワーされて欲しいと思います。日本では、過去に、



写真1
患者さんの笑顔のために

写真2
広島県庁・国立大学法人広島大学とアッヴィで、肝炎対策の推進に係る連携に関する協定を締結



医師が患者さん本人にがんの告知を行わないこともありました。信頼のおける情報へのアクセスを通じて、疾患の知識を高めることも重要ではないかと考えます。

必要な方に適切な情報を届ける環境を

俵木 患者さんが正しい情報を入手し、判断できることが重要です。日本では、患者さんが情報を入手したくても、十分に届かないという課題もあります。

当協議会ではくすりのしおり[®]をホームページから提供していますが、サイトアクセス数が2019年5月には1,700万PVを記録しました。そのうち8割はモバイルからのアクセスです。患者さん自身が、実際にもらった薬をスマートフォンなどで検索しているわけです。

今後は、このサイトを活用して、ここから疾患情報等へアクセスできるようにリニューアルしたいと考えています。もっと患者さんに情報が届く世界を近い将来作っていきたいのです。

フェリシアーノ くすりのしおりサイトにアクセスすると、薬だけでなく、運動や食事など包括的な情報を得られることを期待したいですね。

一協議会では、英語版くすりのしおりの掲載数も9,500種類を超え、日本語版の50%超を網羅しています。御社は、日本語版、英語版ともに全種類作成されています。

フェリシアーノ 製薬会社として当然の責務ですし、なにより患者さんのためですから。

俵木 訪日外国人が2020年度には4,000万人に達しようとしています。命に係わる情報は、日本語だけでなく多言語でも届けなければなりません。まずは英語版くすりのしおりを急ピッチで揃えていきます。

様々なステークホルダーと共に目指す究極のゴール

一患者団体との関わりも重要になっていきます。

フェリシアーノ 患者団体との協業はとても大切です。私たちの使命は革新的な医薬品を創出すること。そして、患者さんの人生にポジティブな変化をもたらすこと。患者団体と共に取り組むことで、患者さん側のニーズを理解し、共にソリューションを見つけていくことができます。

協業の一例としては、当社は一般社団法人INSPIRE JAPAN WPD 乾癬啓発普及協会の協力の下で、乾癬の疾患啓発を行っています。患者さんは、乾癬になって悩んだり、不安になったりする

と思いますが、一人で悩まずに、適切な治療によって乾癬をコントロールできることを多くの人に知ってもらいたいと思います。

また、2019年7月には広島県庁、広島大学とアッヴィで、肝炎対策の推進に係る連携の協定を結びました。産官学で連携し、互いの強みを持ち寄って、一日も早い肝炎撲滅を目指し、全国モデル構築に向けた取り組みを進めています。

俵木 患者さんを巻き込んだ取り組みに敬意を表します。

フェリシアーノ 私たちは、「社員が成長できる文化を基盤として、最先端の科学技術と先進的な取り組みにより患者さんの笑顔に貢献し続けるバイオ医薬品企業になる」というビジョンを掲げて、私たちにしかできない革新的な医薬品やソリューションを生み出すため、熱意をもって取り組んでいます。患者さんをはじめ、そのご家族、地域社会の人々、社員、一人ひとりの人生をもっと豊かなものにするために、様々なステークホルダーの皆さんと共に取り組むことで、それぞれの強みを生かし、ソリューションを見出し、患者さん、社会全体にベネフィットをもたらすことができると考えています。

*DTC広告：医療用医薬品の広告を一般の方に直接届ける手法。日本国内では医薬品医療機器法等により規制されている。

保護者向けサイト 子どもにくすりをのませるコツ



公開!

くすり教育・啓発委員会
一般啓発分科会

2019年2月、くすり教育・啓発委員会は、小さなお子さんをお持ちの保護者向けサイト「子どもにくすりをのませるコツ」を公開しました。

本サイトは、保護者がお子さんに薬を飲ませるときの不安を少しでも解消できる事を目的として、明治薬科大学薬学部教授の石川 洋一氏の監修のもと作成しました。

本サイトの作成にあたっては、保護者がお子さんに薬を飲ませるときに困っ

たことや、その際の対処方法、解決に向けた情報収集方法などを調べるために、乳幼児をもつ保護者2,672名を対象にインターネットを用いてアンケート調査を実施しました。

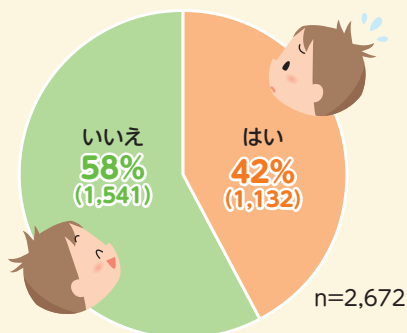
その結果、お子さんが薬を飲むのを嫌がった経験がある保護者の割合は42%（**グラフ1**）に達しました。また薬の飲ませ方や使い方に困ったときの情報収集方法は、「インターネットで調べる」が56%、「薬剤師に相談する」が

55%で、ほぼ同数でした（**グラフ2**）。

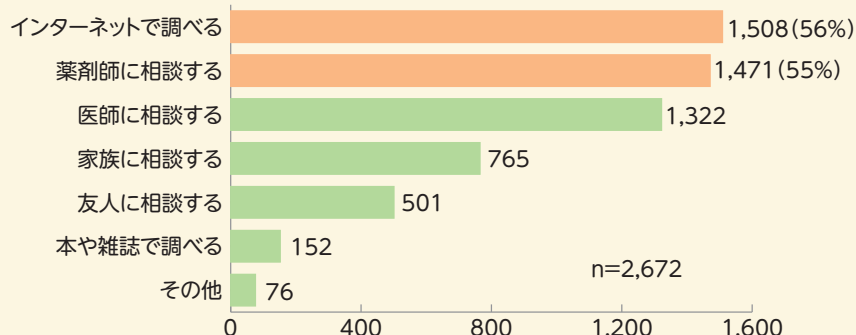
これらの調査結果を参考に、保護者が困った際の解決のヒントとなるよう、サイト内にはお子さんが安心して薬を飲むための環境づくりや剤形別の薬の使い方のポイントも紹介しています。

また、インターネットで情報を調べる保護者が多かったことから、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで本サイトの薬の正しい使い方を確認した後、印刷して手元にも残しておけるよう、PD

グラフ1 子どもが薬を飲むのを嫌がったことはありますか？



グラフ2 子どもへの薬の飲ませ方や使い方に困ったとき、どの様な方法で情報を集めますか？(複数回答)



アンケート調査概要

- 対象: 乳幼児を持つ保護者 2,672名
- 方法: インターネット調査
- 協力: 株式会社コズレ <https://www.cozre.co.jp/>
- 収集期間: 2018年2月26日～3月12日

Information

**学会ポスター
発表**

10/13 - 14 第52回日本薬剤師会学術大会
10/19 - 20 第13回日本薬局学会学術総会

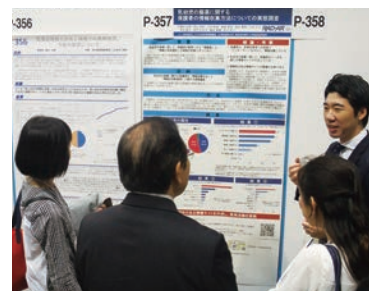
**イベント
参加**

10/4 OTC医薬品普及啓発イベント
10/27 たまひよファミリーパーク2019 たまひよ学級



ポスターの内容やイベントの詳細はこちら

<https://rad-ar.or.jp/blog/>





F版も無料でダウンロードできるようにしています。

2018年12月には、子どもの成長を切れ目なく支援するための法律である「成育医療等基本法」が制定されましたが、本サイトが保護者の不安の解消につながると共に、お子さんが心身ともに健やかに育つためのツールの一つになることを期待しています。



監修者からのコメント

明治薬科大学 薬学部教授

石川 洋一氏

初めて子どもに薬を飲ませる時、とても心配ですね。

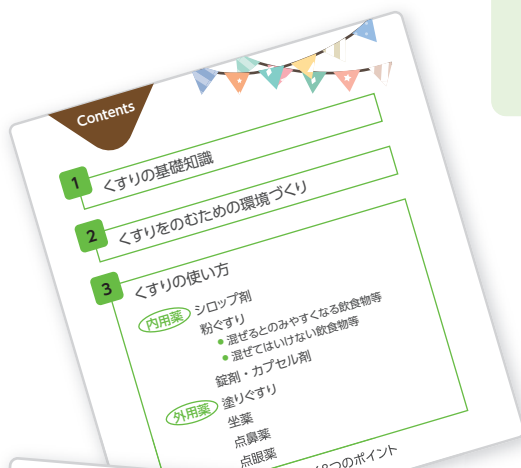
粉ぐすりを本当に子どもが飲んでくれるのだろうか、点眼薬は親の私でさえうまく使えないのに…、そもそも坐薬って何だかわからない！

でも、その心配がお母さん・お父さんの顔に出ると、子どもはそれに気が付いて薬を飲むのをいやがるようになります。お母さん・お父さんが自信をもって笑顔で薬を飲ませてあげると、子どもは安心して薬を飲むようになります。

まずはお母さん・お父さんが薬の知識・薬の上手な飲ませ方をしっかり知ることが、子どもに薬を飲んでもらうための、そして子どもの安全を守るための大事な一歩なのです。

このWEBページには、大切な薬の基礎知識・薬の上手な飲ませ方や使い方について分かりやすく書いてあります。また、薬をきちんと片付けずに子どもが間違えて飲んでしまった、などということが無いように誤飲への注意も書いてあります。

どうぞ薬を正しく安全に使うために、このWEBページをご活用ください。



■ 成長に応じたくすりののませ方

	誕生	6ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
成長の目安	首据わり 寝返り	ひとり座り はいはい	つかまり立ち 一人歩き	第1次反抗期 (イヤイヤ期) 自我が芽生える		大人の話を十分理解できる	
のませ方(例)	哺乳乳 哺乳瓶の乳首を使用	離乳食スタート スプーンを使用	ストローのみができる コップのみができる			錠剤が服用可能に	
		スプーンを使用	コップを使用				“大人のみ”
		スポイトを使用					
			水に溶かしてのめる場合は水でのませる 難しい場合は、食品と混合				

薬剤師に確認しておく8つのポイント

1. くすりをのむ・使うタイミングで気を付けることは？
・のみぐすりは食前や食中でもよい？
・坐薬を使うタイミングは？
2. 食欲がない時、くすりだけのませてもよい？
3. くすりをのみ忘れた場合はどうしたらいい？
4. くすり混ぜてはいけいけい飲食物はなに？
5. シロップ剤と粉ぐすり混ぜてもよい？
6. くすりをのむ・使う順番はある？
7. くすりを凍らせても大丈夫？
8. 以下にあてはまる時は相談しておきましょう
・他のくすりをのんでいる
・ほっしん、じんましんが出たことがある
・くすりの副作用を経験している

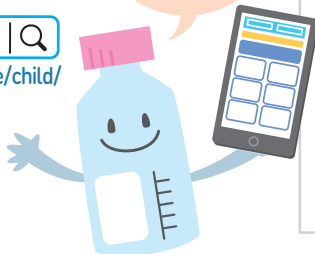
こちらのQRコードからスマホでご覧いただけます

web誘導カードを配布中!

スマホから簡単にサイトにアクセスして頂くため、web誘導カードを配布中!

聖路加国際病院をはじめ、首都圏で保育園を運営する企業に協力を頂き、保護者の方と現場の保育士さんに配布されています。カードご希望の方は協議会までお問い合わせください。

子ども くすり コツ | Q
<http://www.rad-ar.or.jp/use/child/>



外国人観光客3,000万人時代の 薬剤師・薬局に向けて

兵庫医療大学 薬学部 教授

桂木 聡子氏

コミュニケーションの 重要性

私はこれまで病院や薬局に勤務し、国際内科の処方箋を受けたり、海外医療支援をしたり、JICAや兵庫県国際交流協会と一緒に仕事をしてきました。また阪神淡路大震災を経験したことで、国内外の外国人医療にも深く関わってきました。

2002年、すべてのシーンでのバリアフリーを目指した神戸市薬剤師会の「ハートフル薬局事業」では、薬局で外国語対応ができるように6カ国語で指し形式の問診票と服薬指導のための説明書を作成しました（写真中央）。

電子辞書ぐらいいかなかった02年当時、説明する薬剤師も、どうすれば外国人にも分かりやすいかを必死で考えました。この説明書では、指でさしながら顔を見てコミュニケーションを取る、お互いにしっかり聞いてもらっているという安心も得られました。

今は時代が変わり、くすりの適正使用協議会の英語版くすりのしおりを含む多くのツールがあります。

薬学部の学生に日本語の通じない患者対応はどうするかを聞くと、「スマートフォンの翻訳アプリを使う」「AIに頼る」と答えます。薬剤師は、日本語が通じない患者さんにも、薬の専門家として服薬指導等を行う責任があります。

最近では夜間急病診療所に、一晩に何人かの外国人旅行者の患者さんが訪れます。道を歩いていても、外国人に出会う機会が増えています。そこで、外国人への医療について最近気になったことを紹介します。



便利なツールを利用するのは良いのですが、薬剤師の言いたいことを伝えるだけでは服薬指導にはなりません。便利なツールがある今、文化の違う患者・利用者からも信頼を得る服薬指導をどのように行うのか、今更ながら考える必要があるのではないのでしょうか。

全ての方の 安心・安全の窓口

2006年の医療法改正により「調剤を実施する薬局」は医療提供施設と位置づけられ、各都道府県のホームページに施設情報が掲載されるようになりました。

日本語の堪能な外国人の友人に、英語が話せる薬剤師のいる薬局が見つけれられるかと質問すると、インターネットを駆使して、15分で英語と中国語の話せる店員のいる薬局を見つけることができました。旅行客向けの物販対応に関する情報でした。一方、同じ質問をした薬学部2年生は、30分経っても見つけることができませんでした。

各都道府県の医療機関情報ホームページには、英語のページもありますが、せっかく色々な対応ができる薬局があっても、今はそれを必要な人が見つけることは至難の業です。

これから東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や2025年の大阪万博などで外国人が日本に来る機会が増加します。観光客だけではなく、私たちの街には、当たり前外国人が住む時代が来ています。薬剤師は、その人たちにも、かかりつけ制度を含め日本人と同じように医薬品を安心して使用することのできるサービスを提供する必要があります。



かつらぎ さとこ

薬剤師として病院・薬局で勤務後、2010年度より兵庫医療大学に着任。現在、薬学部医療薬学科の教授。医療安全に関するリスクマネジメント、医薬品添付文書の海外との比較、国内外のコミュニティーファーマシー等に関する調査研究、健康と平和に関する調査研究を行っている。健康と平和は切っても切れない関係であるとの考えから、紛争地や被災地でどのように健康や平和を作り守っていくのかを現地に赴き考え続けている。また長年、兵庫県海外技術研修員の受入支援、留学生センターやJICAセンターでの医療・健康関係のサポートにも関わっている。

英語版くすりのしおり®

いろんなところで取り上げられています

2003年7月に誕生した英語版くすりのしおり®。

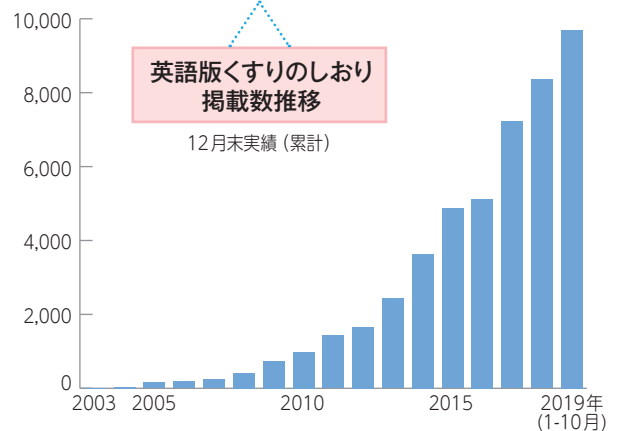
2019年10月末現在、掲載数は9,521種類まで充実してきました(日本語版は16,485種類、英語版作成率56%)。

また、パソコンやモバイル端末からの英語版へのアクセス数も15万PVとなっており、前年同期より29%増加しています。(日本語版を含めたアクセス数は1,459万PV/月)

最近では、訪日・在留外国人の増加を背景に、当局をはじめいくつかの団体から取り上げてもらえるようにもなりました。

そこで今回、今年取り上げられた事例をいくつか紹介します。

今後もさらなる英語版の充実を進めていきます。



外国人患者受入れのための医療機関向けマニュアル

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230_00003.html

2019年4月、厚生労働省政策科学推進研究事業「外国人患者の受入環境整備に関する研究」研究班より、外国人患者の受入れ体制を整備する際に必要な情報を整理したマニュアルが発行された。

このマニュアルでは、当協議会がウェブサイトにおい

て医療用医薬品の情報を英語で掲載していることが紹介されており、また、外国人患者に薬の飲み方等を説明する際、英語版くすりのしおり®を説明書として渡すことが提案されている。

医療機関のための
外国人患者受け入れ情報サイト

<https://internationalpatients.jp/manual.html>

外国人患者を受け入れる医療機関の質の確保を目的に、厚生労働省の委託事業の一つとして制作された。外国人患者受け入れの際に役立つ情報を掲載したサイトのひとつとして、「薬」のコーナーに英語版くすりのしおり®が紹介されている。

東京2020
オリンピック・パラリンピック競技大会で
取り扱う医薬品情報

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、選手村や各競技会場等で取り扱う医薬品の情報を記載した「Pharmacy Guide」を作成し、各国のオリンピック関係者に公開・配布する。このガイドにおいて英語版くすりのしおり®が各製品情報の詳細参照先として紹介されている。

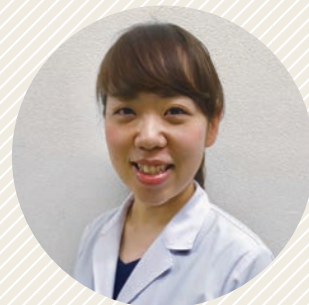
医療用医薬品添付文書の
英訳ガイダンス

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000497973.pdf>

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課は「医療用医薬品添付文書の英訳ガイダンスについて」(平成31年3月29日薬生安発0329第8号)を通知して、添付文書の英訳化を進めている。この中で、外国人患者への説明にあたっては英語版くすりのしおり®を参照する旨を英訳添付文書に記載可能、としている。

患者さんと医療者のいい関係

患者さんと医療者が良好な関係を築くためのノウハウを、
東 加奈子氏に紹介していただきます。



あづま か な こ
東 加奈子氏

東京医科大学病院 薬剤部 主査

略歴

2003年4月	東京医科大学病院	薬剤部入局
2009年	日本病院薬剤師会	がん専門薬剤師免許取得
2010年	日本医療薬学会	がん指導薬剤師免許取得
2011年	日本医療薬学会	がん専門薬剤師取得

求められる本質的な情報提供

がん医療を外来で受けられる患者さんは増加傾向にあります。治療計画から患者さん自身も参画するという新しい療養環境の中で、がん専門薬剤師はどのようなコミュニケーションを図っているのでしょうか。

がん患者さんが必要とする情報とは

数年前、乳腺科の外来担当薬剤師であった私は、ある患者さんに新規に始まる抗がん薬の説明をしていました。

治療目標・治療スケジュールを説明し、さて副作用の話をしようとした時です。患者さんから「副作用は一つだけ教えてください。薬剤師が最も大切だと思う副作用だけを教えてください。」と言われました。

私が日々携わっているがん医療では、患者さんへの情報提供は標準ケアのひとつです。がん治療に関する意思決定において情報提供が担う役割は大きく、治療的

介入とも考えられています。

本邦における質的研究においても、情報提供がしっかり行われれば、治療の意思決定への参加に日本の患者さんは積極的になることが明らかになっています¹⁾。

一方で、患者さんにはどのような情報のニーズがあるかといった研究はあまり実施されていません。世界的にみると、がん患者さんの情報ニーズを評価する代表的なものとしてInformation Needs Questionnaires (INQ)があります²⁾。Degner先生らが開発したINQは、一般的にがん患者さんが必要とする情報を、以下の9つとしています。

INQはこれら9項目すべてのペアを作成し、どちらが





重要かを患者さんに尋ねる一対比較を行います。INQを用いて50名の乳がん患者さんを対象に行った私たちの研究では、情報ニーズが高いものとして、治癒する可能性、病気の広がり、治療およびその副作用があり、性的な魅力や遺伝的なリスクはそのニーズが低いことが明らかになっています³⁾。

同じ尺度を用いたカナダでの研究では、遺伝的リスクのニーズが高い結果が示されており、両国間における診療提供体制による違いも認められました。また追加の解析では、治療における様々な段階、術前・術後補助化学療法、進行再発がんに対する化学療法で情報ニーズは変化することが明らかになりました。

これまで通りの暮らしのために

さて「副作用を一つだけ知りたい」と希望された患者さんに何をお伝えしたでしょうか。

私が患者さんに伝えた副作用は発熱性好中球減少症です。発熱性好中球減少症は、好中球の減少の程度・勢い・期間にもよりますが、感染症のリスクが増加し、命に直結する副作用です。より良く生きることを目標に行っているがん化学療法ではありますが、感染症はその機会を一瞬にして奪うことがあるためです。

患者さんはどうして、「一つだけ」知りたかったのでしょうか。

恐怖や不安から副作用情報を多くは聞きたくないという患者さんには、日常診療でも出会うことがあります。しかしこの患者さんの理由は異なりました。これから受ける抗がん薬治療の家族への影響を考え、説明書に書かれている多種多様な副作用については、ご主人、娘さんと一緒に話を聴きたいという希望を持たれていました。そのために今は、最も大切な副作用を一つだけ知りたかったことが理由でした。

以上のことから、ひとまず「一つだけ」お話しし、改めて時間と場所を再設定し、ご主人と娘さん同席の元に服薬説明を行いました。

ご家族とは患者さんの病状に関する情報を共有し、患者さんの治療環境を整えるためのアドバイスをを行い、合わせてご家族自身がこれまで通りの生活を送るための対処法を共に考えました。

伝える前に聞くことの大切さ

近年、薬剤師と患者さんのコミュニケーションは大きく変わってきました。医薬品名、用法・用量、副作用を中心に薬の情報提供のみに焦点を当てたtransmission modelから、患者さんの精神面や社会的役割に配慮を加えて、治療のゴール、レジメン選択、症状や治療の評価、問題発生時のレジメンの見直しなどを患者さんと共有するpatient centered modelへ移行しています。そのような中で、患者さんの情報ニーズを理解することなく、意思決定支援そのものである服薬説明を行うことはできません。

医療者として伝えなければならない・伝えたい情報はたくさんありますが、患者さんの情報ニーズを理解しながら、伝え方の順序や環境などに配慮を行い、効果的な情報提供を行うことを日々考えています。



1) Sekimoto M, Asai A, Ohnishi M, Nishigaki E, Fukui T, Shimbo T, et al. Patients' preferences for involvement in treatment decision making in Japan. BMC Fam Pract 2004;5:1.

2) Degner LF, Kristjanson LJ, Bowman D, Sloan JA, Carriere KC, O'Neil J, et al. Information needs and decisional preferences in women with breast cancer. JAMA 1997;277(18):1485-92

3) 第54回日本癌治療学会学術集会

信頼できる情報を、社会へ

定時総会・創立30周年記念祝賀会を開催

協議会は、2019年6月12日、第4回定時総会を開催しました。

定時総会の審議事項である、2018年度の事業報告と決算の承認、役員の改選と役員報酬の変更については、全て満場一致で承認されました。

これに加えて、定時総会では、昨年3月に共同ステートメント「健康や医療・医薬品に関する情報を正しく理解していただくために」を発信した6団体（日本医師会・日本薬剤師会・日本製薬工業協会・ささえあい医療人権センターCOML・日本医学ジャーナリスト協会及び当協議会）が今年5月に改めて一堂に会し、各団体が一年間実施してきた活動を共有すると同時に、今後も引き続き連携していく旨を確認し、報告しました。



また、当協議会が運営している医療用医薬品情報の検索サイト、くすりのしおり®の閲覧回数が昨年から急増しており、今年5月には、月間1,700万ビューを超える閲覧数にまで達しました。このような状況を踏まえて、新たな取り組みに向けた検討に着手していることを報告しました。

具体的には、種々の医薬品関連情報が氾濫する中で、患者さんがご自身に処方された医薬品についてくすりのしおり®を閲覧した際には、より理解を深め、その医薬品を適正に使用するための信頼できる関連情報、疾患情報や使用方法の動画等に容易にたどり着ける仕組みを構築していきたいと考えています。

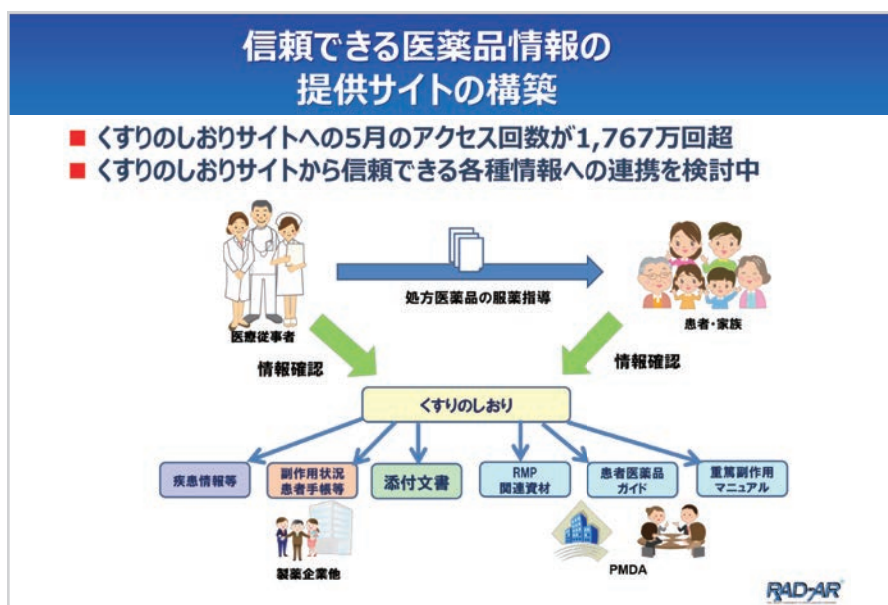
前述の今年5月に開催した6団体の会議の中でも、信頼できる健康・医療・

医薬品関連情報のポータルサイト構築の取組みを始めたいと説明し、各団体から賛同が得られました。

定時総会に引き続いて、関係者の皆様にお集まりいただき開催した創立30周年記念祝賀会では、俵木理事長から30年の歩みを約2分間にまとめた動画で紹介し、引き続き社会の役に立つ事業を推進していくことを宣言しました。本動画は、ホームページに掲載しています。



信頼できる情報を、社会へ。くすりの適正使用協議会は、これからも努力してまいります。



役員一覧

理事長

俵木 登美子 一般社団法人 くすりの適正使用協議会

副理事長

高橋 洋一郎 一般社団法人 くすりの適正使用協議会

理事

押田 卓也 アステラス製薬株式会社
石牟禮 武志 塩野義製薬株式会社
木野 孝一 大日本住友製薬株式会社
小林 義広 田辺三菱製薬株式会社
成田 喜弘 日本新薬株式会社

赤名 正臣 エーザイ株式会社
小暮 誠二 第一三共株式会社
古山 直樹 武田薬品工業株式会社
大箸 義章 中外製薬株式会社
川音 聡 ノバルティス ファーマ株式会社

監事

山下 修 Meiji Seika ファルマ株式会社 三輪 亮寿 三輪亮寿法律事務所



2分で知る協議会 -30周年記念動画-

<http://www.rad-ar.or.jp/council/activity/history.html>



一般社団法人 くすりの適正使用協議会 会員・代表者一覧

※50音順、敬称略（2019年9月1日現在）

製薬企業会員 23社



旭化成ファーマ株式会社

代表取締役社長兼
社長執行役員
青木 喜和



アステラス製薬株式会社

執行役員
メディカルアフェアーズ本部長
押田 卓也



アストラゼネカ株式会社

代表取締役社長
ステファン・ヴォックストラム



アッヴィ合同会社

社長
ジェームス・フェリシアノ



エーザイ株式会社

取締役 代表執行役 CEO
内藤 晴夫



大塚製薬株式会社

取締役
信頼性保証本部・PV・薬事・
メディカルアフェアーズ担当
芹生 卓



キッセイ薬品工業株式会社

代表取締役会長 兼
最高経営責任者 (CEO)
神澤 陸雄



協和キリン株式会社

代表取締役社長
宮本 昌志



興和株式会社

代表取締役社長
三輪 芳弘



サノフィ株式会社

代表取締役社長
ジャック・ナトン



塩野義製薬株式会社

代表取締役社長
手代木 功



第一三共株式会社

代表取締役社長 兼 CEO
眞鍋 淳



大正製薬株式会社

取締役会長
上原 明



大日本住友製薬株式会社

代表取締役会長
多田 正世



武田薬品工業株式会社

取締役 ジャパン ファーマビジネスユニット
プレジデント
岩崎 真人



田辺三菱製薬株式会社

代表取締役社長
三津家 正之



中外製薬株式会社

代表取締役社長
最高経営責任者
小坂 達朗



東和薬品株式会社

代表取締役社長
吉田 逸郎



日本新薬株式会社

代表取締役社長
前川 重信



ノバルティス ファーマ株式会社

代表取締役社長
網場 一成



ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

代表取締役社長
オーレ ムルスコウ ベック



マルホ株式会社

代表取締役社長
高木 幸一



Meiji Seika ファルマ株式会社

代表取締役社長
小林 大吉郎

賛助会員 6社1団体

株式会社EMシステムズ
取締役社長 大石 憲司

株式会社グッドサイクルシステム
代表取締役 遠藤 朝朗

シミック株式会社
代表取締役 社長執行役員 藤枝 徹

株式会社ズー
代表取締役社長 藤井 修亮

ソニー株式会社
harmo事業部長 石島 知

日本医師会ORCA管理機構株式会社
代表取締役 上野 智明

日本OTC医薬品協会
会長 佐藤 誠一

個人会員 8名

特定会員 175社



『その情報、信じていいの?』

～正しい医療情報の見極め方、検索のポイントとは～

主催 公益社団法人 日本薬剤師会／一般社団法人 山口県薬剤師会／山口県
共催 一般社団法人 くすりの適正使用協議会／日本製薬工業協会
後援 下関市

2019年10月14日、第52回日本薬剤師会学術大会「県民公開講座」が山口県下関市生涯学習プラザで行われ、一般の方々約200名が来場、熱心に聴講されました。

講演は二部構成で行われ、第一部は2018年9月からスタートした「くすりの基礎知識啓発会議」（日本薬剤師会、製薬協と当協議会の合同会議）の流れをくむ内容で企画し、医療情報の見極め方について取り上げました。

現在、健康や医療、薬に関する情報は巷にあふれています。しかし、全ての情報が正しいかといえば、なかには根拠があやふやなものもあります。また、最適な治療は一人ひとり異なるにもかかわらず「この医薬品は飲んではいけない」、「やってはいけない手術」など、あたかも全員に当てはまるかのような表現を目にすることもあります。医療には不確実な部分があり、また、どんなに優れた薬でも副作用が起こる危険性があります。そのような限界がある中で、本当に役立つ正しい情報をどう見極めればいいのか、「医療情報」とどう向き合うべきか、健康・医療情報の「探し方」「見極め方」「薬剤師の活用法」について3人の演者が熱弁をふるいました。

第二部では特別講演として、医療安全システムデザイナー／前山口大学医学部附属病院薬剤部長の古川 裕之氏が『知っておきたい!クスリについての基本知識～お薬と上手につきあうために～』をテーマとした講演を行いました。

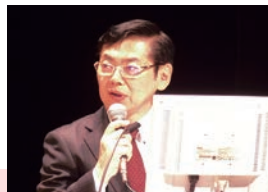


講演内容詳細は
こちらをご覧ください。

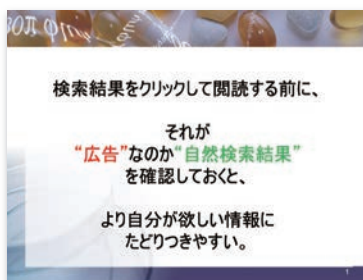
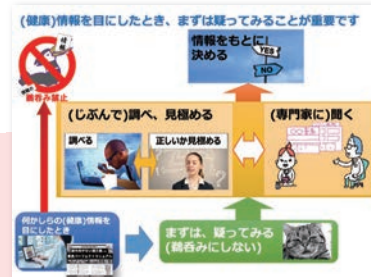
<https://rad-ar.or.jp/blog/>



第一部



座長: 吉田 カ久
公益社団法人 日本薬剤師会常務理事



最新! 健康・医療情報のググリ方
～検索サイトの仕組みと裏側～

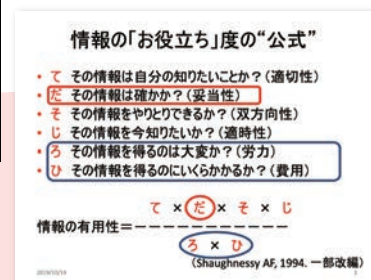
小林 球一
株式会社 電通メディカルコミュニケーションズ
代表取締役社長

2



医療情報を味方につける
ポイント

北澤 京子
医療ジャーナリスト、京都薬科大学客員教授



“この薬、飲んだら危ない?!”の
悩み、薬剤師が解決します

堀越 博一
公益社団法人 日本薬剤師会理事

3



世界のくすり事情

Korea 韓国

「えっ」と驚く海外の薬にまつわる事情をシリーズでお届けします。

亀山 菜つ子

シミック株式会社 メディカルアドバイザー
2005年 千葉大学医学部卒
2009年より10年間、韓国在住

第3回 西洋医学と韓医学が共存する韓国

韓国には、高度な医療や国民皆保険など、日本のような医療システムがあります。一方で、伝統的な韓医学が根付いていて、病気の時だけではなく健康を維持するためにも漢方薬をよく飲むことが韓国在住時の印象でした。

韓国の薬局と医薬分業

韓国は基本的に医薬分業で、病院で処方された薬は院外薬局で調剤してもらいます。患者さんの服薬忘れ防止のため、1回の服用量ごとに分包してくれる一包化サービスなど、患者さんへのサービスや服薬指導もしっかりしています。また、OTC医薬品も薬剤師のいるカウンターの後ろに陳列されています。日本のようなドラッグストアはなく、コンビニにおいてある数種類以外のOTC医薬品は必ず薬剤師を通して買うことになります。

また、周囲に医療機関がない地域は医薬分業の例外地域として指定されています。日本では病院でしか処方できない抗生剤やステロイド剤なども、医師の処方なしで3日分まで薬剤師が調剤、販売できるというので驚きました。



韓国の薬局



左：腰痛に処方された液状漢方。温めて飲む。
右：胃薬の丸薬

比較してみると、一錠中のアセトアミノフェンは日本で300mg、韓国で500mgでした。これだけで断定はできませんが、韓国人の体格が日本人より大きいことも考慮すると、信憑性は高いかもしれません。

17歳男子の平均身長・体重（2017年）：

日本 170.6cm、62.6kg（文部科学省）

韓国 173.5cm、71.0kg（教育部）

韓国では欠かせない漢方薬

漢方は西洋医学の医師ではなく、ライセンスの違う韓医師が扱う領域です。こちらは医薬分業ではありませんので、韓医院で韓医師の診察を受け、漢方薬を直接、あるいは韓薬剤師に調剤してもらいます。最近需要が減ってきてはいるものの、西洋医学の治療で効果がない場合、例えば不妊やうつ病、

消化不良などで利用する人が多いようです。新しい西洋医学の薬と伝統的な漢方薬、両者を利用できることが韓国医療のメリットではないでしょうか。

韓国の薬は強い？

「韓国の薬は日本より強い」と言う日本人が多いようですが、実際はどうでしょうか。同じブランドのアセトアミノフェン単一製剤（OTC）を



直近数か月間に行われた、協議会活動の一部をご紹介します。



薬剤疫学入門セミナー
(2019/7/4)



くすり教育出前研修
(2019/8/20)



よく知って正しく使おう
OTC医薬品啓発イベント
(2019/10/4)



日本薬剤師会学術大会
(2019/10/13-14)

協議会ホームページで
活動状況を紹介しています
<https://rad-ar.or.jp/blog/>
過去の記事もこちらからご覧いただけます！



日本宝くじ協会の助成を初めて取得！



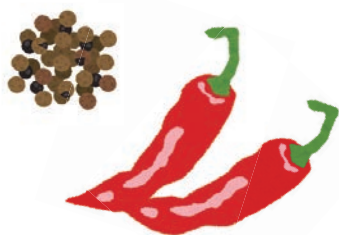
（一財）日本宝くじ協会の助成により、科学技術館クスリウム（東京）と内藤記念くすり博物館（岐阜）にて、中高生向け小冊子を計1万冊配架中。詳しくは左の協議会ホームページで！

薬についての ソボクなギモン

東京に薬研掘不動院がありますが、薬と関係があるのでしょうか。



答え



薬研^{やげん}といえば、自分の薬は自分で調合したという徳川家康も愛用していた、薬の材料を砕いて細かくする道具です。

今ではコーヒー豆を挽くのにミル代わりとして使用している人もいます。

東京の薬研堀は中央区東日本橋にかつて存在した運河で、堀底の形状がV字型で薬研の窪みに似ていたことから、堀周辺の通称にもなりました。薬研掘不動院も地名が由来のようです。

また、この地には医者や薬問屋が多かったともいわれられており、漢方からヒントを得て開発された七味唐辛子の発祥の地でもあります。七味唐辛子は別名薬研堀とも呼ばれます。

一般社団法人くすりの適正使用協議会の現況

(2019年10月末現在)

協議会をささえる会員 (五十音順)

●製薬企業会員 23社

旭化成ファーマ株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
アツヴィ合同会社
エーザイ株式会社
大塚製薬株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
協和発酵キリン株式会社
興和株式会社
サノフィ株式会社
塩野義製薬株式会社
第一三共株式会社

大正製薬株式会社
大日本住友製薬株式会社
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
中外製薬株式会社
東和薬品株式会社
日本新薬株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
マルホ株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社

●賛助会員 6社・1団体

株式会社EMシステムズ
株式会社グッドサイクルシステム
シミック株式会社
株式会社ズー

ソニー株式会社
日本OTC医薬品協会
日本医師会ORCA管理機構株式会社

●個人会員 8名

●特定会員 176社

くすりのしおり*登録状況

日本語版: 16,485種類 (+532)

英語版: 9,521種類 (+976)

※カッコ内は4月末からの数値からの変化

会員募集中!

協議会の趣旨にご理解を賜り、
新たなパートナーとして参加いただける
会員*を随時募集しております。
入会の詳細につきましては、下記まで
お問い合わせください。

※企業、団体、個人を問いません

URL: <http://www.rad-ar.or.jp>
E-mail: ytakahashi@rad-ar.or.jp
電話: 03-3663-8891
FAX: 03-3663-8895

RAD-AR Newsは、6月・12月の年2回発行です。バックナンバーは、当協議会ホームページよりご覧頂けます。新規送付を希望の方は、協議会までお問い合わせください。購読料、送料は無料です。

<http://www.rad-ar.or.jp>